

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	後天性慢性赤芽球癆における免疫抑制療法と予後追跡調査 ：特発性造血障害班赤芽球癆コホート調査（PRCA2016）
	研究目的	後天性慢性赤芽球癆に対する至適治療を確立するため、前向きに患者さんのデータを集める研究（前向きコホート研究）のデザインのもとに、主な評価項目として後天性慢性赤芽球癆の全生存を調べます。その他の評価項目として免疫抑制療法の奏効率、輸血が必要な症例の割合、輸血が必要な症例における鉄キレート療法（体にたまった鉄分を取り除く治療）の実施状況と予後を調べます。
	研究期間	西 暦 2017 年 4 月 6 日 ～ 西 暦 2027 年 3 月 31 日
利用する試料・情報の項目 （チェック[X]が入った項目を 利用します）		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物（尿・便） <input type="checkbox"/> その他（記載して下さい） <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	研究責任者	血液内科部長 金森 平和
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診 療科/部局等	血液内科
	共同研究の場合、共同 研究機関および各施設 での研究責任者	廣川 誠 秋田大学総合診療・検査診断学講座・教授 澤田賢一 秋田大学長 張替秀郎 東北大学血液免疫学・教授 松田 晃 埼玉医科大学国際医療センター造血器腫瘍科・教授 小松則夫 順天堂大学血液学・教授 通山 薫 川崎医科大学検査診断学（病態解析学）・教授 米村雄士 熊本大学医学部附属病院輸血・細胞治療部・講師 中尾眞二 金沢大学細胞移植学講座・教授 荒井俊也 東京大学血液腫瘍内科学・講師 黒川峰夫 東京大学血液腫瘍内科学・教授